



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 シンニッタン
コード番号 6319 URL <http://snt.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋本 諭
問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名) 小林 謙治

TEL 044-200-7812

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	8,951	△3.8	756	△11.7	928	△21.0	468	△34.1
27年3月期第2四半期	9,301	0.9	857	—	1,174	7.5	710	17.8

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 186百万円 (△79.3%) 27年3月期第2四半期 900百万円 (△47.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	17.93	—
27年3月期第2四半期	27.21	—

(注) 27年3月期第2四半期の営業利益の対前年同四半期増減率は、表示方法の変更に伴い遡及修正が行われたため、記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	35,883	28,696	79.6
27年3月期	37,099	28,880	77.4

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 28,545百万円 27年3月期 28,730百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	14.00	14.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	17,000	△15.5	1,350	△20.2	1,600	△25.7	800	△42.3
								30.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料4ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期2Q	27,500,000 株	27年3月期	28,998,691 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年3月期2Q	1,376,945 株	27年3月期	2,875,556 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	26,123,082 株	27年3月期2Q	26,123,300 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（以下「当第2四半期」という。）におけるわが国経済は、期初においては、好調な企業収益を背景に設備投資の増加基調が続き、また、個人消費も雇用環境の改善により持ち直しの兆しがみえましたが、夏場以降、中国の景気減速リスクの高まりもあり、輸出の伸び悩みや個人消費の弱含みなどから在庫調整が発生し、鉱工業生産も低調な動きとなって、景気の先行きは不透明な状況となっております。

このような状況下、当社とその連結企業（以下「当社グループ」という。）の当第2四半期の売上高は、前年同四半期比3.8%減少の89億51百万円となりました。一方、利益面は、営業利益においては、売上減少や減価償却費の増加、スクラップ単価の下落等により前年同四半期比11.7%減少の7億56百万円、経常利益においては、昨年同期に受領した合弁会社からの配当（特別配当）の消滅もあり前年同四半期比21.0%減少の9億28百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は災害損失引当金繰入額1億4百万円を計上したこともあり前年同四半期比2億42百万円減少の4億68百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

当社グループの主要事業である鍛造事業は、鍛造品の主要マーケットである国内の自動車産業においては、円安による国内生産へのシフトが一部で見られますが、海外生産の拡大による現地調達進展は続いており、国内生産は伸び悩んでおります。また、当社主力の大型部品の引き合いは依然として強くない状況が続きましたが、一部設備投資の回復や景気の好転により比較的底堅く推移しました。一方、海外子会社の市場であるタイ国の自動車産業においては、政治の混迷や同国の景気減速で停滞感が一層顕著となっており、同子会社においても受注減少の状況で推移しました。

建設機械産業においては、中国の景気減速リスクの高まりから資源価格の下落が強まり、鉱山機械の生産が低迷したことから関連する鍛造部品の生産は停滞の度合いが更に強まりました。

以上から、売上高は前年同四半期比1億20百万円減少の69億28百万円、営業利益は減価償却費の増加・スクラップ単価の下落の影響を受け、前年同四半期比42百万円減少の6億12百万円となりました。

仮設機材の販売・リースを行う建機事業は、首都圏での再開発事業や社会インフラの改修整備等から、仮設機材の需要は引き続きあるものの、建設関連職人の人手不足問題や人件費の高騰による建設工事の一部見直し等が表面化し、関連する仮設機材の販売も低下傾向となりました。

以上から、売上高は前年同四半期比3億1百万円減少の14億16百万円、営業利益は前年同四半期比63百万円減少の2億49百万円となりました。

金属製パレットの製造販売を中心とした物流事業は、主要顧客である自動車会社においては引き続き海外生産の進行等の影響を受ける中、取引先のパレット入替の恩恵も受け、売上高は前年同四半期比97百万円増加の5億46百万円、営業利益は42百万円となりました。

不動産事業の売上高は、主要ビルのテナントの退去とその後の改修計画着手で新規募集を控えたこともあり、前年同四半期に比べ25百万円減少の60百万円となりました。

(注) なお、平成27年5月15日に開示しました「平成27年3月期決算短信 1. 経営成績・財政状態に関する分析 ② 次期の見通し」で触れています会計基準の変更は、当第1四半期連結会計期間より実施し、「作業くず売却益」を「営業外収益」計上から、「売上原価」の戻入に変更しました。また、前第2四半期連結業績は、当期と同様の処理で遡及修正を行い、損益上の各数値は変更後で表示しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況 (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ14億41百万円減少し、192億3百万円となりました。これは、現金及び預金が6億79百万円、受取手形および売掛金が4億75百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ2億24百万円増加し、166億79百万円となりました。これは、建設仮勘定が5億円増加したことにより有形固定資産その他が5億39百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ12億16百万円減少し、358億83百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ8億82百万円減少し、60億63百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が6億93百万円、電子記録債務が2億2百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ1億49百万円減少し、11億22百万円となりました。これは、有価証券の時価下落等で投資有価証券が3億16百万円減少したことにより繰延税金負債が1億25百万円減少したことなどによります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億84百万円減少し、286億96百万円となりました。これは、当第2四半期において4億68百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益を計上しましたが、一方、6月に配当金として3億65百万円支払ったことと、株価下落により、その他有価証券評価差額金が2億64百万円減少したことなどによります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末より6億79百万円減少し、102億72百万円となりました。

各活動のキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は、税金等調整前四半期純利益7億28百万円、減価償却費5億17百万円を計上しましたが、仕入債務の大幅な減少等により、7億17百万円の増加に止まりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は、主に有形固定資産の取得をしたことにより、10億12百万円の減少となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は、配当金の支払もあり、3億78百万円の減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当年度の連結業績予想については、本日公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載しましたとおり、以下のように変更しております。

平成28年3月期通期連結業績予想

売上高	17,000百万円
営業利益	1,350百万円
経常利益	1,600百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	800百万円

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
税金費用の計算

法人税等の処理は、法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成27年 9 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,952,051	10,272,555
受取手形及び売掛金	4,085,440	3,609,604
電子記録債権	534,277	516,839
有価証券	204,165	204,189
製品	1,862,777	1,936,882
半製品	143,202	136,364
仕掛品	866,335	803,902
原材料及び貯蔵品	1,007,000	886,238
その他	995,721	837,599
貸倒引当金	△5,951	△315
流動資産合計	20,645,019	19,203,860
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,491,795	4,491,080
その他(純額)	6,093,596	6,632,644
有形固定資産合計	10,585,391	11,123,724
無形固定資産		
	18,928	18,928
投資その他の資産		
投資有価証券	4,807,500	4,490,689
その他	3,217,733	3,220,772
貸倒引当金	△2,174,658	△2,174,658
投資その他の資産合計	5,850,575	5,536,803
固定資産合計	16,454,896	16,679,456
資産合計	37,099,916	35,883,316

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,076,881	3,383,377
電子記録債務	1,042,444	840,122
短期借入金	976,800	976,800
未払法人税等	232,629	247,624
賞与引当金	107,601	142,739
災害損失引当金	—	89,905
その他	510,136	383,186
流動負債合計	6,946,494	6,063,755
固定負債		
長期借入金	21,300	12,900
役員退職慰労引当金	116,492	94,804
退職給付に係る負債	444,373	445,967
その他	690,310	568,987
固定負債合計	1,272,475	1,122,659
負債合計	8,218,970	7,186,415
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,256,723	7,256,723
資本剰余金	6,872,872	6,647,746
利益剰余金	14,165,685	13,530,863
自己株式	△1,847,124	△884,482
株主資本合計	26,448,155	26,550,851
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,607,403	1,342,751
為替換算調整勘定	675,300	652,088
その他の包括利益累計額合計	2,282,703	1,994,840
非支配株主持分	150,086	151,210
純資産合計	28,880,946	28,696,901
負債純資産合計	37,099,916	35,883,316

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	9,301,037	8,951,548
売上原価	7,877,364	7,621,612
売上総利益	1,423,673	1,329,936
販売費及び一般管理費		
従業員給料	126,286	146,543
運賃	131,545	115,413
その他	308,622	311,412
販売費及び一般管理費合計	566,454	573,369
営業利益	857,219	756,566
営業外収益		
受取利息	23,694	29,361
受取配当金	264,925	89,103
その他	76,478	63,884
営業外収益合計	365,097	182,349
営業外費用		
支払利息	3,884	3,939
退職給付費用	34,729	—
金型廃棄損	5,865	5,624
その他	3,022	736
営業外費用合計	47,500	10,300
経常利益	1,174,816	928,615
特別利益		
受取保険金	5,448	—
特別利益合計	5,448	—
特別損失		
固定資産処分損	91,001	95,412
災害損失引当金繰入額	—	104,413
特別損失合計	91,001	199,826
税金等調整前四半期純利益	1,089,263	728,788
法人税、住民税及び事業税	370,746	257,121
法人税等調整額	1,391	△2,824
法人税等合計	372,138	254,296
四半期純利益	717,125	474,492
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	710,905	468,465
非支配株主に帰属する四半期純利益	6,219	6,026

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	358,736	△264,651
為替換算調整勘定	△197,962	△23,726
退職給付に係る調整額	22,444	—
その他の包括利益合計	183,218	△288,378
四半期包括利益	900,343	186,114
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	897,976	180,601
非支配株主に係る四半期包括利益	2,367	5,512

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,089,263	728,788
減価償却費	452,980	517,536
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	551	△5,636
受取利息及び受取配当金	△288,619	△118,465
支払利息	3,884	3,939
賞与引当金の増減額 (△は減少)	37,014	35,137
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	23,376	1,594
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	5,847	△21,687
売上債権の増減額 (△は増加)	△314,653	490,421
有形固定資産処分損益 (△は益)	91,001	95,412
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△82,692	137,408
仕入債務の増減額 (△は減少)	761,604	△1,126,987
その他	71,108	118,764
小計	1,850,668	856,226
利息及び配当金の受取額	288,608	118,465
利息の支払額	△3,884	△3,939
法人税等の支払額	△407,179	△253,003
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,728,213	717,748
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△204,131	△204,189
有価証券の売却による収入	204,080	204,165
有形固定資産の取得による支出	△473,688	△938,703
投資有価証券の取得による支出	△10,610	△72,955
その他	1,397	△357
投資活動によるキャッシュ・フロー	△482,952	△1,012,040
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	50,000	—
長期借入金の返済による支出	△39,500	△8,400
配当金の支払額	△313,479	△365,723
非支配株主への配当金の支払額	△4,623	△4,388
自己株式の取得による支出	△9	△46
財務活動によるキャッシュ・フロー	△307,612	△378,558
現金及び現金同等物に係る換算差額	△68,373	△6,645
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	869,275	△679,495
現金及び現金同等物の期首残高	9,032,349	10,952,051
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,901,625	10,272,555

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	鍛造事業	建機事業	物流事業	不動産事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	7,049,473	1,717,674	448,286	85,603	9,301,037
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,049,473	1,717,674	448,286	85,603	9,301,037
セグメント利益	654,987	313,235	5,457	49,267	1,022,949

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,022,949
全社費用 (注)	△ 165,730
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	857,219

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	鍛造事業	建機事業	物流事業	不動産事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	6,928,501	1,416,423	546,255	60,368	8,951,548
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,928,501	1,416,423	546,255	60,368	8,951,548
セグメント利益	612,501	249,882	42,856	28,249	933,489

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	933,489
全社費用 (注)	△ 176,923
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	756,566

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来「営業外収益」の「作業くず売却益」は、金額的重要性が増したため、「売上原価」の戻入に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の表示方法により作成したものを記載しております。